

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	要保護児童対策事業				会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり			主管課長	石井 由美子			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	要保護児童	意図	保護すべき児童の早期発見と適切な保護。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容の協議などを行う協議会の設置。</li> <li>関係機関との情報の交換。</li> <li>要保護児童の早期発見及び適切な保護。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	児童虐待及びDV防止対策連絡協議会⇒平成19年3月に要保護児童対策地域協議会へ移行。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 個別支援会議	12	8	13	回	↑↑↑	
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 困難事例が多様化してきており、それぞれに係る関係機関との情報共有や役割を決めることにより、よりの確な対応が求められている。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,601,500	3,591,800	3,865,800			
事業費(b)(円)		108,000	136,800	100,800			
うち一般財源		108,000	136,800	100,800			
職員給与費(c)(円)		3,493,500	3,455,000	3,765,000			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	関係機関との連携により、児童虐待の早期発見・未然防止に努める。	③取組の課題	引き続き関係機関との連携を図る。
②今年度(H27)に実施した取組	毎月、関係機関との実務者会議を通じて、要保護児童の情報交換を行い、児童虐待の早期発見・未然防止に努めた。	④今後の改善計画	関係機関との更なる連携により、児童虐待の早期発見・未然防止に努める。